

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	地域木造住宅市場活性化推進事業	事業開始年度	平成20年度	作成責任者		
担当部署	住宅局	担当課室	住宅生産課	課長 橋本 公博		
会計区分	一般会計	上位政策	住宅の取得・賃貸・修繕が円滑に行われる住宅市場を整備する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	住宅市場整備推進等事業費補助金交付要綱			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	木材は再生産が可能な循環型資源であり、かつ、木造住宅は鉄筋コンクリート造等の住宅に比べて建設段階における炭素排出量が少ないことを踏まえ、地域で産出される木材などの地域の建材を活用した木造住宅市場の活性化を図ることにより、森林・林業の再生や低炭素社会の実現に貢献することを目的とする。さらに、木造住宅産業は、林業、木材産業、大工・工務店等の中小住宅建設業など裾野が広く、地域経済の振興にも寄与する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域で産出される木材などの地域の建材を活用した木造住宅の振興を図るため、林業、木材産業、大工・工務店などの地域の木造住宅関連事業者からなるグループ(都道府県等の推薦を受けたグループで、共同して木造住宅市場の活性化に資する事業を行う者)が行う木造住宅の普及推進、担い手育成、部材の開発やモデル住宅の建設などの取組について、事業計画の提案を公募し、学識経験者の意見を踏まえて選定された事業に対して補助を行う。 (補助率:定額・1/2)					
実施状況	平成20年度:54件(普及推進31件、担い手育成17件、企画開発・技術開発25件、生産合理化13件) 平成21年度:64件(普及推進36件、担い手育成19件、企画開発・技術開発30件、生産合理化18件) ※括弧内のテーマ別件数は延べ件数(複数テーマに該当するものはそれぞれ計上)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	0	499	579	550	—
	執行額	0	485	574		
	執行率	—	97.2%	99.1%		
	総事業費(執行ベース)	0	—	—		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	これまで採択を行った事業者からの事業実施報告を通じて、支出先・使途及び事業の目的・効果を把握。併せて、平成20年度の実施状況については、全事業の成果を整理した事例集を作成済。				
	見直しの余地	・これまで、複数の事業者からなるグループの取組に対して支援してきたところであるが、個々のグループへの支援が継続性や地域での取組の広がりや十分つながっているかという観点からの見直しが必要。 ・今後は、取組の継続性や他の事業者への広がりなどを考慮した上で、地域の体制構築や生産性向上に発展させる取組について重点的に支援を行うなど、予算執行を効率化することが重要。				
予算監視の効率化	【事業廃止】 ただし、政策目的についてはご理解いただいているので、やり方を改善して行う。					
補記	<p>(参考1)新成長戦略(基本方針)[H21.12.30閣議決定] 2.(4)観光立国・地域活性化戦略「地域材等を利用した住宅・建築物の供給促進を図る。」</p> <p>(参考2)国土交通省成長戦略[平成22年5月17日国土交通省成長戦略会議] 3)課題に対応した政策案(早期に実現を目指すもの(平成23年度概算要求を含む。)) ④環境にやさしい木造住宅の供給促進に向けて、 i)森林所有者、製材工場等と連携した木造展示住宅の建設と、木造住宅における木材の生産流通過程や環境負荷低減効果などの情報表示を支援する。 ii)木造住宅・建築物のコスト低減と品質向上を図るため、型式の標準化を行う。 iii)公共建築物等における木材利用を促進する。</p> <p>(参考3)公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律[平成22年5月26日公布] (住宅における木材の利用) 第十七条 国及び地方公共団体は、木材が断熱性、調湿性に優れ、紫外線を吸収する効果が高いこと、国民の木造住宅への志向が強いこと、木材の利用が地域経済の活性化に貢献するものであること等にかんがみ、木材を利用した住宅の建築等を促進するため、木造住宅を建築する者に対する情報の提供等の援助、木造住宅に関する展示会の開催その他のその需要の開拓のための支援その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。</p> <p>【予算科目】 ・005 住宅市場整備推進費 ・95 住宅市場の環境整備の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95016-2405-16 住宅市場整備推進等事業費補助金 579百万円 574百万円</p>					

国土交通省  
574百万円

地域の住宅関連事業者からなるグループが行う木造住宅の普及推進、担い手育成、部材の開発やモデル住宅の建設などの取組に対して補助

↓  
【公募・補助】

A. 民間事業者等(64件)  
574百万円

木造住宅の普及推進、担い手育成、部材の開発やモデル住宅の建設などの取組を実施

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。使途と費目の  
 双方で実情が分かるように  
 記載)

A.「天竜・無垢の木・ひのきの家」普及促進協議会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設費	展示住宅建設費	11			
印刷製本費	普及用パンフレット作成費等	5			
委託料	展示住宅設計費等	4			
その他	講師等旅費、消耗品費、セミナー会場費等	3			
報償金	設計者、学識経験者	3			
賃金	補助員	2			
計		28	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

## 【別紙】

A.民間事業者等(64者) 574百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	「天竜・無垢の木・ひのきの家」普及促進協議会	28
2	「住宅と景観の調和」研究会	19
3	群馬地域型住宅グループ	19
4	大分の木で家を作る会	18
5	地域資源の活用研究会	18
6	特定非営利活動法人日本民家再生リサイクル協会	17
7	御杖村森林組合	17
8	特定非営利活動法人輪島土蔵文化研究会	16
9	京都府建築工業協同組合	16
10	ものづくり創造研究会	16